



6月1日、6日、8日 村内保育園で「むし歯予防教室」 歯みがきは丈夫な身体の第一歩

村内各保育園で6月中に「むし歯予防教室」が開かれました。この教室は、むし歯予防週間に合わせて、園児たちに歯の大切さを伝えているもの。

各保育園では、保育士によるむし歯をテーマにした楽しい寸劇や、歯によい食べ物を当てるクイズ、歌に合わせて舌を動かすペロ体操、歯科衛生士の山田恵子けいこさんの指導で、歯の磨き残しを確認する染め出しを行いました。園児たちは、染め出しされた歯をしっかりと確認しながら、正しい歯みがきの仕方と、よい歯の大切さを学んでいました。



歯みがききれいにできるかな？(第二保育園)



歌に合わせてペロ体操(第二保育園)



磨き残しを確認(第一保育園)



山田さんの歯みがき指導(子育て保育園)



5月 東小学校で農業体験授業 土と触れ合う農業体験



素足で触れる田んぼの感触に笑みがこぼれる生徒たち

東小学校で農業の体験授業が行われました。3年生の授業ではコンニャク芋の植え付け、4年生の授業ではほうれん草の種まきを行いました。地元農家の加藤幸久ゆきひささん(宿)ら計6人の有志が来校し、指導にあたりました。

また、5年生の総合的な学習では、加藤定男さだおさん(常木)の田んぼで田植えを体験。子どもたちは、初めての田んぼの感触を確かめながら苗を手植えました。体験した新田優海ゆうみさんは「初めての感触でびっくりしたけど、体験出来てよかった」と話していました。



指導を受けながら丁寧に田植え



ほうれん草の種まき

ニュース・トピックスでは、村の出来事や話題など昭和村の「今」をお知らせします。

6月18日 昭和村歌謡会がカラオケ大会・発表会 美声を響かせチャリティー贈呈

昭和歌謡会によるチャリティーカラオケ大会が村公民館で行われ、村内外から総勢150人あまりの出場者が自慢の歌声を響かせていました。竹之内重秋会長(伏田)より社会福祉協議会に寄付金が贈呈されました。



発表者の熱唱に耳を傾ける参加者

6月19日 横浜市内でコンニャク芋の植付け コンニャク芋の植付けで横浜市と交流

村と友好交流協定を結ぶ横浜市内で6月19日、村の特産品であるコンニャク芋の植付けが行われました。これは同市との交流事業の一環として市民に昭和村を認知してもらうために毎年実施されています。



横浜市の小学生による横浜公園にコンニャク芋の植付け

6月8～11日 横浜開港記念バザー 村特産品を販売し横浜でPR

横浜市で開催された「横浜開港記念バザー」で、村のPRのため新鮮野菜やコンニャクの加工品などを販売しました。安くて新鮮な村産の野菜などを求めてたくさんのお客さんに来てもらい、連日大盛況でした。



新鮮野菜などの特産品が並んだ昭和村のブース(横浜公園)

6月6日 第1回 昭和村統合小中学校建設委員会 統合小中学校建設に向け動き始める

第1回昭和村統合小中学校建設委員会が村公民館で開かれました。委員会では今後、子どもたちの将来、昭和村の未来のため、議会議員や学校関係者、各学校の保護者代表などの委員が話し合いを進めていきます。



委員を代表して委嘱状を受け取る奈良浩さん(中央)

6月12日 フラワーメイト昭和会が奉仕作業 「昭和の湯」玄関前が華やかに

フラワーメイト昭和会(小野英樹^{ひでき}会長)が、地域貢献として村総合福祉センター「昭和の湯」玄関前の花壇に花植えを行いました。小野会長は「温泉を訪れる方々が花を見て癒されてくれれば」と話しました。



玄関前の花壇に花植えを行った皆さん

6月19日、21日 村消防団が中継送水訓練を実施 沼田広域消防と連携を密に

村消防団(小野誠^{まこと}団長)は沼田広域消防署の指導のもと、中継送水訓練を実施しました。火元から距離があるときでも、ポンプ車を連結し災害に対応できるよう沼田広域消防との連携を再確認しました。



広域消防署員と中継送水の操作を確認する村消防団員

6月20日 園児たちが総合運動公園に遠足 総合運動公園で元気いっぱい

第二保育園の遠足が行われ、村総合運動公園を訪れました。園児たちは、運動公園に設置された大きな遊具で元気いっぱい遊んでいました。遊び終わった後は、青空の下でお弁当を楽しんでいました。



公園内の遊具で遊ぶ園児たち

6月 糸井地区で伝統行事 「なんまいだ」で無病息災祈る

糸井地区で、なんまいだ(ひやくまんべん)が行われました。無病息災を祈願し、害虫を追い払う伝統行事。小学生たちが各家庭をまわり、大きな数珠を繰りながら「なんまいだ、なんまいだ」と元気に唱えていました。



なんまいだに参加したこどもたち

6月 友好交流都市のイーグルポイント市から13名が来村 イーグルポイントから4年ぶりに来村し交流を深める

村と国際姉妹都市提携を結んでいるアメリカ合衆国オレゴン州イーグルポイント市から、生徒や引率者ら13人が6月24日から8日間の日程で来日し、村内5家庭のホストファミリー宅でホームステイを行いました。

同市との海外交流は平成10年からスタートし、令和元年からはより交流を深めるため毎年派遣と受入を行うようになっていましたが、コロナ禍により3年間実施することができませんでした。

4年ぶりに実施となった今回、昭和村への来訪を待ち望んでいたイーグルポイントの生徒たちは、ホームステイや中学校訪問を通じて、ホストファミリーや生徒たちとふれあい、親交を深めました。

このほか一行は、座禅体験や人形芝居といった和の文化に触れ、日本での日々を満喫しました。



日本の文化にたくさん触れた8日間

6月23日 昭和中学校で地域学習講演会 先人たちの歴史から郷土を学ぶ

昭和中学校(秋元秀文校長)で地域学習講演会が開かれ、1年生と3年生が受講しました。講演では、先人たちの努力でいかにして昭和村が発展してきたかを話しました。生徒たちは熱心に耳を傾けました。



講演を行った小池和弘さん(左)、島田宏充さん(右)

6月26日 災害時における施設利用に関する協定 沼田警察と災害時における協定を締結

村は沼田警察署と大規模災害発生時における施設利用に関する協定を締結しました。これは、災害などにより警察機能の維持が難しくなった場合、役場内に警察機能の一部を移転させるため場所の提供を行うものです。



協定を締結した堤村長(左)、吉井署長(右)